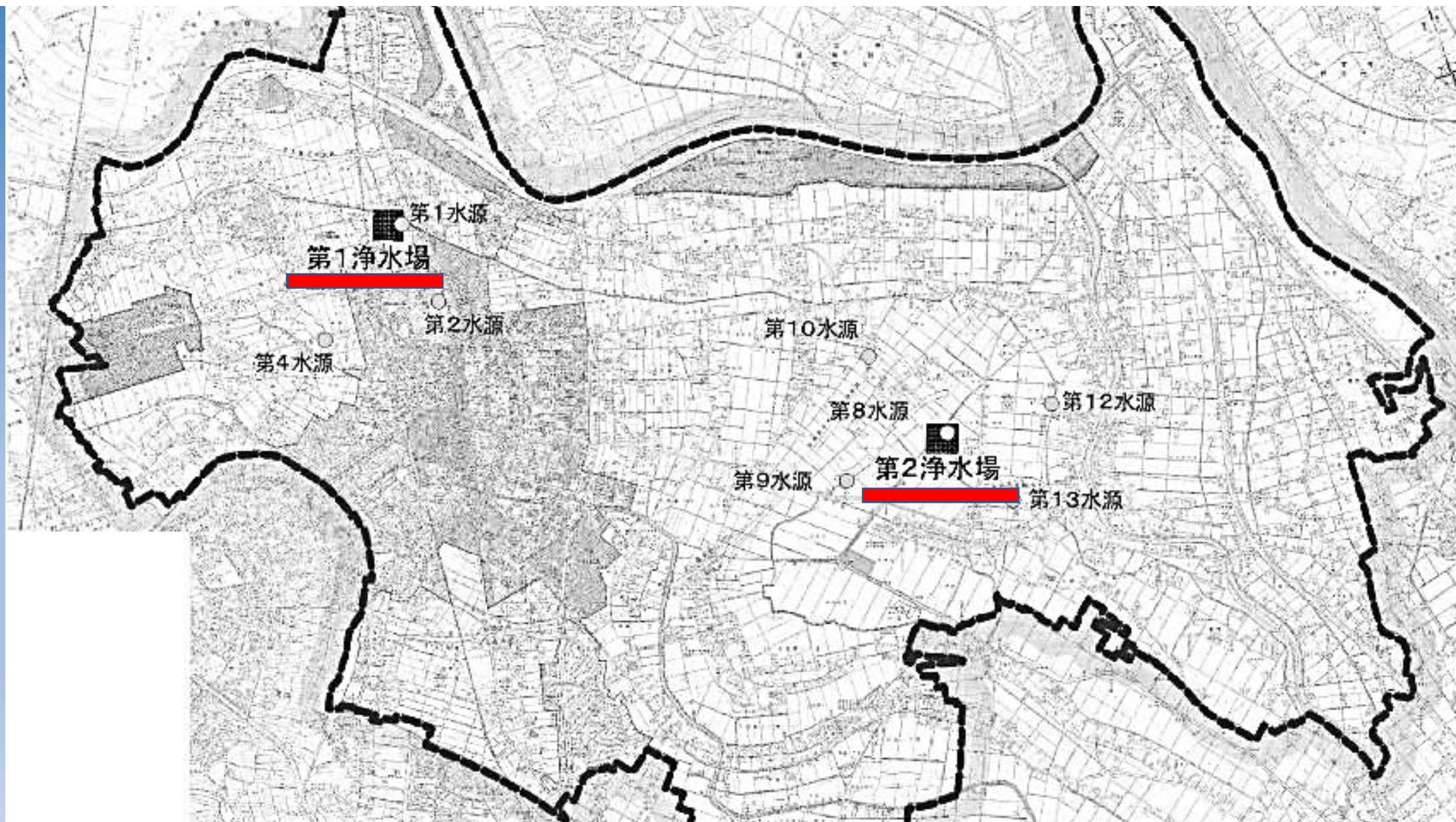


議題（３）

資料 5

幸手市水道施設及び水道管について

1 幸手市の浄水場について



2 幸手市の水について

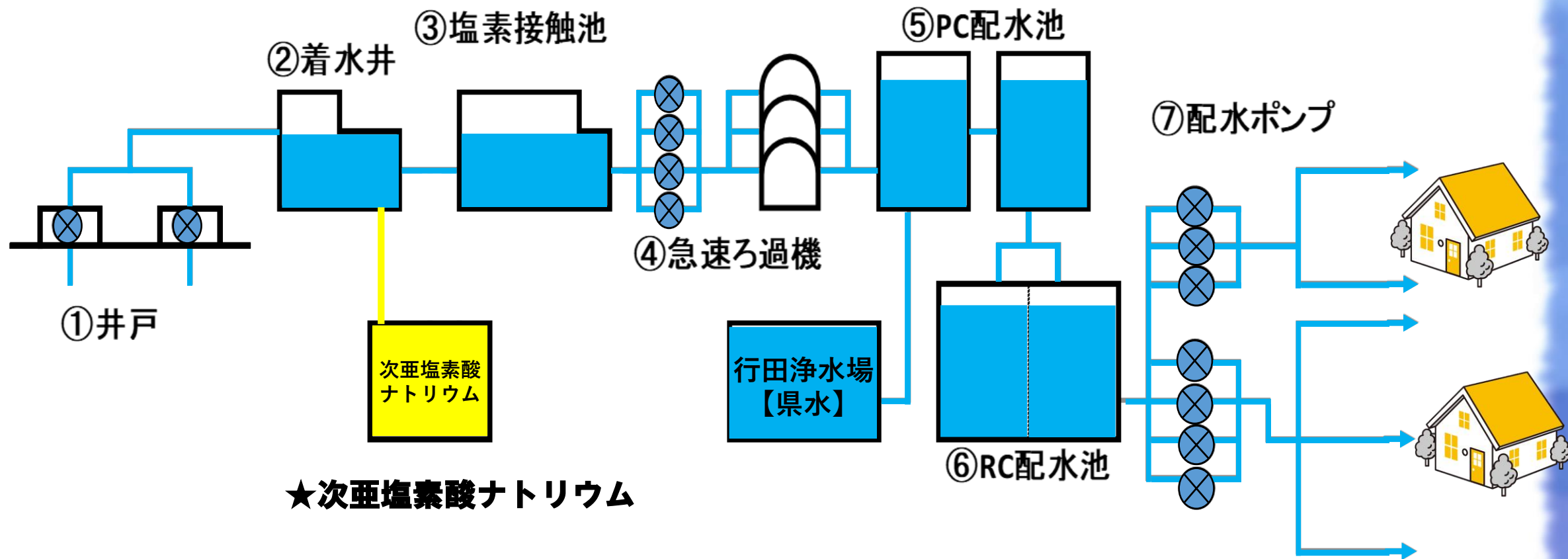
(1) 井戸（深井戸）から水をつくる

3割 使用中の井戸は市内に8本

(2) 埼玉県から県水を受入

7割 行田浄水場から届く

水ができるまで



取水・導水

浄水

送配水

給水

3 浄水場施設の維持管理について

単位：年数

設備機器		設備機器の保守及び更新（※1）		地方公営企業法有形固定資産の耐用年数	採用耐用年数
		最大	平均		
機械設備	ポンプ本体（30kw以下）	41	22	15	OH10年毎計2回、10年後更新
	電動機本体（30kw以下）	41	22	15	OH10年毎計2回、10年後更新
	ポンプ本体（30kw超え）	65	26	15	OH10年毎計2回、10年後更新
	電動機本体（30kw超え）	47	26	15	OH10年毎計2回、10年後更新
	水中モーターポンプ（30kw以下）	30	17	15	17
	次亜塩素酸注入設備（タンク含む）	39	19	15	19
電気設備	高圧受電盤・配電設備	42	23	20	23
	始動装置類	41	26	20	26
	継電器盤等	34	21	15	21
	直流電源装置（インバータ装置）	30	20	6	20
	無停電電源装置UPS	26	19	15	19

※1：公益社団法人 日本水道協会「設備機器の保守及び更新に関するアンケート調査報告」より抜粋

4 浄水場施設の耐震状況について

(1) 配水池の耐震化率 82.1%

	令和4年度	令和3年度
埼玉県(県内水道事業者)	75.4%	75.1%
幸手市	82.1%	82.1%

出典 令和6年3月 厚生労働省公表 配水池における耐震化率の状況(令和4年度)

(2) 計画的な耐震診断・改修の実施が必要

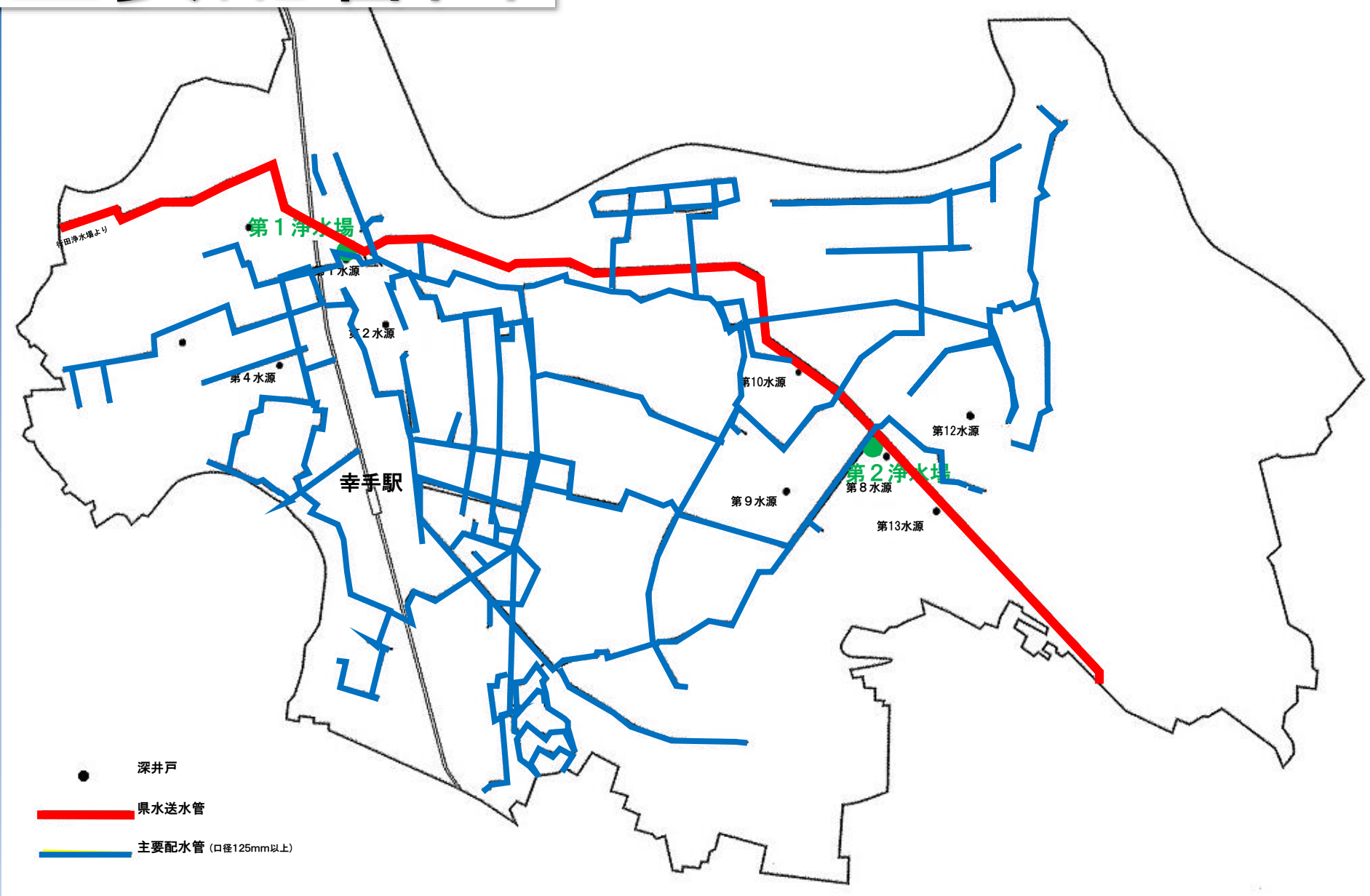
1 能登半島地震



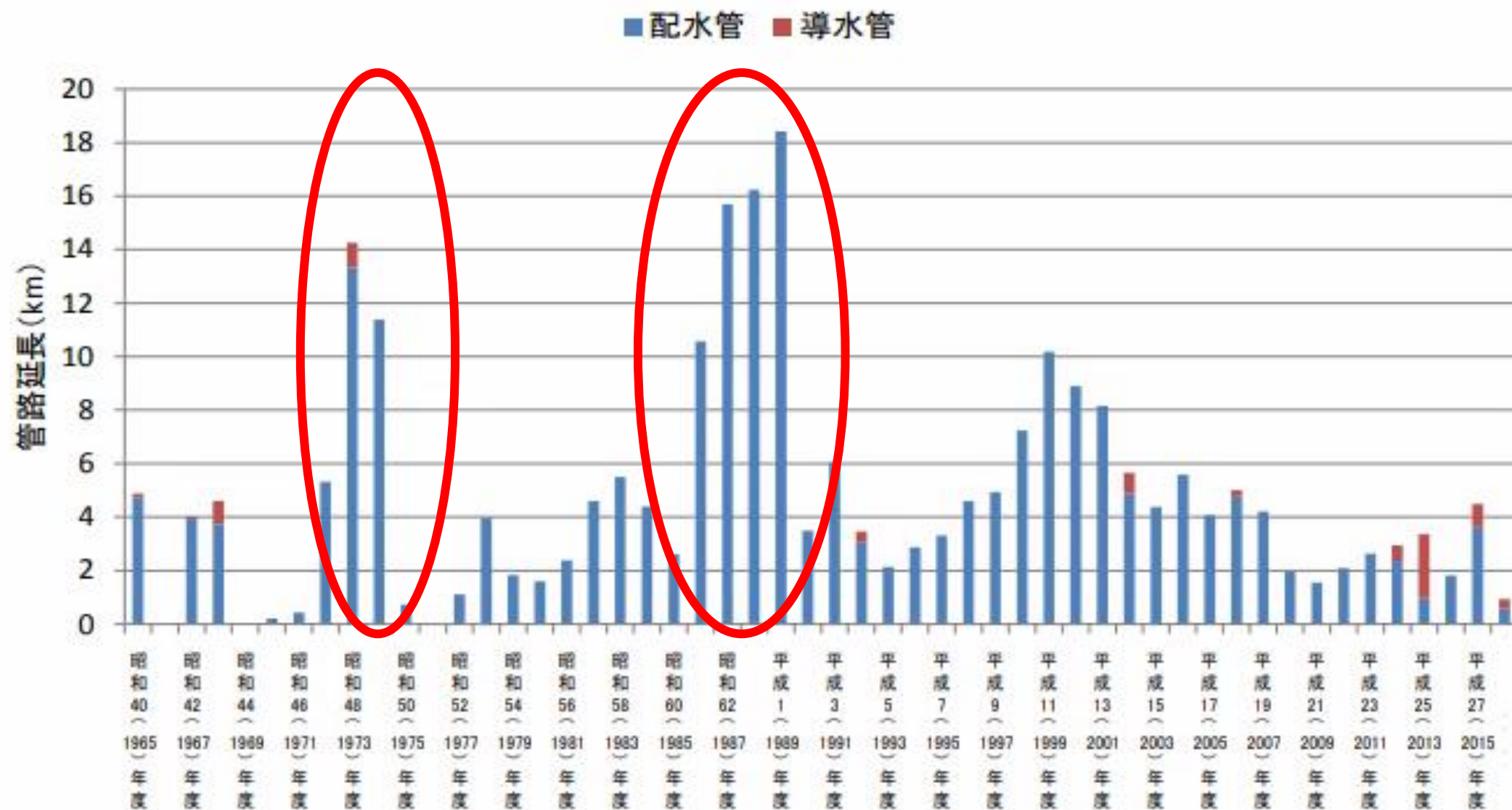
出典「北陸新聞デジタル」

2

主要配管図



3 布設年度別管路延長



4 基幹管路の耐震化状況（令和4年度末）

事業主体名	基幹管路延長	耐震適合性のある管 の延長		耐震適合率	耐震管率
			耐震管の 延長		
	(m)	(m)	(m)	(%)	(%)
	(A)	(B)	(C)	(B/A)	(C/A)
羽生市	19,919	5,864	5,864	29.4	29.4
行田市	33,826	7,932	3,795	23.4	11.2
春日部市	68,480	27,932	27,932	40.8	40.8
幸手市	34,340	9,438	8,599	27.5	25.0
久喜市	59,225	33,674	16,810	56.9	28.4
白岡市	11,646	1,451	1,451	12.5	12.5
蓮田市	16,959	7,581	6,206	44.7	36.6
加須市	31,697	8,658	8,658	27.3	27.3

5 石綿セメント管を通過した 水道水の健康影響について

健康への影響はありません。

- 厚生労働省

アスベストは呼吸器からの吸入に比べ経口摂取に伴う毒性は極めて小さく、また、水道水中のアスベストの存在量は問題となるレベルにないことから、水質基準の設定を行わない。

- 世界保健機構（WHO）

健康影響の観点からガイドライン値を定める必要はないと結論できる。

令和4年度末残管 9 4 6 m